

キ/コモ通信

第 72 号

平成 31 年 3 月 19 日

発行責任者 武田浩文



朝から雪交じりの冷たい雨が降った 3 月 16 日に活動日には、少し寂しい 5 名のメンバーが集結。天候の回復を待って、一時間遅らせての作業となりました。

ナラ枯れの被害にあった木の焼却処分や、次の活動に備えて特注のクサビを打って木を割る作業に心地よい汗を流しました。

活動フィールドでは、シイタケが大量発生。山菜の王様と言われている「タラノ木」と、女王と呼ばれている「ハリギリ」の苗木を植えましたので、収穫が楽しみです。いよいよ、5 月はジャガーハウスでの BBQ 大会で～す (^_-) - ☆

～ 継続は力なり ～

格言にある「継続は力なり」。続けることの重要性、弛まず挫けずに続けていくことの大切さを端的に表現していますが、この言葉を思い出して自らを奮い立たせている方もいることでしょう。物理学者のアインシュタインは「天才とは努力する凡才のことである」、プロ野球選手のイチローは「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」、成功哲学の提唱者であるナポレオン・ヒルは「継続した力こそが目標の現実の鍵となる」と語っているように、多くの成功者が継続は力なりと同じような発言をしています。

このような中、アメリカではここ数年、成功を収めるための最も重要な要素として、GRIT(グリット)が注目されているという記事に触れました。「GRIT～やり抜く力」の著者でもあるアンジェラ・ダックワース教授によると、研究の結果、成功を収める人たちは、共通したある 1 つの性格を持っていることが明らかになったとしています。それは、学歴や知能の高さではなく、「情熱」と「粘り強さ」＝「グリット(GRIT)やり抜く力」であり、目的を達成するために長期間、継続的に粘り強く努力することによって、物事を最後までやり遂げる力こそが成功のカギだと結論付けています。

平成 24 年に策定した「木津川市学研木津北・東地区土地利用計画」に関わった当時の学研企画課職員が発起人となって始めた里山整備、平成 24 年 5 月 14 日の現地確認会からその活動も、まもなく 8 年目に突入します。

少しでも手を緩めると、シノブや雑草が繁茂することから、里山整備に目標となる終点はありませんが、NBA のマイケル・ジョーダンも「一度あきらめてしまうと、それが癖になる。絶対にあきらめるな」と語っていますので、「涓滴岩を穿つ」が如く、継続した活動に邁進したいと考えています。

キ/コモクラブの活動は、年間 10 日程度の午前中のみとなっています。5 月には BBQ 大会を開催しますし、里山からの恵みを享受しながら、無理のないように活動を続けています。

行動が伴わない評論家でなく、傍観者でもない、ましてやフリーライダーとは呼ばれたくない、まちづくりに関わる市職員としての社会的な責任を果たすことに共感いただける多くの皆様の入会をお待ちしていま～す (^_-) - ☆

～今回も頑張りましたよ～



次回活動日のお知らせ

日程：平成31年4月27日(土)

時間：午前8時30分 市役所正面駐車場の北側又は現地駐車場集合

内容：枯木焼却、シノブや雑草退治



メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

公務員も仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。この想いを持つ全国の国・地方の公務員が全国で活躍しております。里山からの恵みを楽しみながら、持続可能な活動を目指しています。特に、若くて体力のあるみなさまの積極的な参画をお待ちしております。興味のある方は、木津川市役所 マチオモイ部の武田までご連絡ヨロシク。